

# 広報 **ながはま** 11月号



## すこいすべり台

白滝 森川美佐子 (11歳)

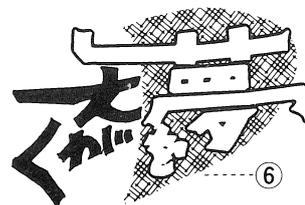
今、白滝は、たくさんの方が来られます。私はあの滝を利用して、みじょう(御荘)

遊ぶことばかり考えていたら、いけないかなあ。

でつながついていたらうれしいなあ。

所があつて、白滝のちよう上から出石寺まで、ロープウェイ

のプールよりもすこい、まがりくねったすべり台を作つて、遊んでみたいですね。それに、お父さん達は、魚つりができればいいと思います。この近くには、みかんのとりほうだいの休けい



こんな町になったらなあ...ノより豊かさを求めて、あすへの夢を育てよう。表紙は、あなたにも夢を求めます。



当選決定に顔がほころぶ西田さん (右は薫夫人)

間の一例を見ても、海岸線、格および改良、路の整備、漁港整備への早期実現、国鉄予讃線の維持、存続対策、長浜、青島航路(船舶建造、航路補助)の整備、新総合開発、新指導助言など、私たちの町に対する貢献は多

# 西田代議士 2 期目に躍進

## 「大仕事は流通基地開発問題」

### 衆院選

当選 60,140票 今井 勇  
 当選 59,387票 西田 司  
 当選 55,878票 毛利 松平  
 52,623票 田中 恒利  
 3,256票 高橋 道雄

当選 西田司 五万九千三百八十七票。  
元長浜町長、下須戒の西田司さんが、十月七日に行われた衆議院議員総選挙で、堂々の二期目当選を飾りました。

前回より九千八百八十八票多い五万九千三百八十七票の支持を得て、みごとな二位当選を決めました。地元から代議士が出るといふこと、それは町政推進、町づくり推進の上にもきわめて重要なこと。ましてや、元わが町の町長経験者である西田さんの国政レベルでの働き、郷土への力添えは、今後の長浜町発展のためにもなくてはならないものです。

「皆さんの力強いご支援に感謝します。これからの長浜町発展のための大仕事は流通備蓄基地開発問題です。私にできることなら、なんなりと声を聞かせて頂き、皆さんと力を合わせてがんばりたいと思います」と抱負を述べる西田代議士。国政のポストで国づくり、郷土づくりで活躍される地元代議士に、心からの声援を贈ろうではありませんか。

長浜町での選挙結果  
(カッコ内は前回分)

▷有権者	9,630人	(9,723人)
▷投票者	8,894人	(9,041人)
▷投票率	92.36%	(92.99%)
▷有効票	8,852票	(9,011票)
▷無効票	42票	(30票)
▷得票 (多い順)		
西田 司	6,408票	(6,460票)
毛利松平	1,087票	(1,257票)
田中恒利	984票	(626票)
今井 勇	269票	(268票)
高橋道雄	104票	(92票)

### 真に「地方の時代」に



別宮久夫 (44・白滝)

一期目の当選では、ただただ喜んでおりました。町民も二期目となりますますという期待が多くなります。昨今、地方の時代と言われながらも、具体的には何ともなされていらないと思います。末端の行

### 生かした生産、職場



武元幸子 (42・長浜)

この小さな町にも不況の波は容赦なく押し寄せて参ります。この時代こそ地域の特性を生かした農、漁、工、商業の生産販売促進に力を入れる時代ではないかと思えます。それと同時に地域の特性を取

### 農産物の価格安定など



水沼和弘 (26・櫛生)

このたび西田司氏が二期目当選を果たされたことは、新しい力の息吹を感じ、喜びでいっぱいです。一九八〇年代にはエネルギー対策問題、インフレ物価等々数えれば切りがありません。農業後継者として考えるには、農産物価格の安定、そして長期展望に立ったミカン作りの適性指導、それに基づく地域の特性を十分に生かすことができないような政策を望みます。これらのことが一体化すれば、より豊かな発展を見るのではないでしようか。

# レポート



「美しい人情と文化の町づくり」は、私たちの町づくり目標の三本柱の一つ。はたして近年、文化の町づくりは、どのように育っているでしょうか。

昭和四十六年…無事喜地のタブノキなど六件が町の天然記念物に…

同四十九年…第一回郷土芸能祭開催が実現…

同五十一年…読書推進協

同五十三年…町内五か所

——リポートの一節には

# 文化その育ちぶり

## の町づくり

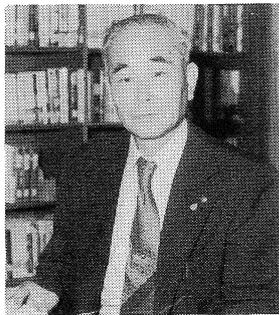
### 読書

昭和三十三年に中央公民館ができたところから地域、住民への図書提供が軌道にのり始めました。

昭和三十八年ころには、図書の巡回用ボックスに目録を添えて部落へ届ける所もでき、公民館ごとに図書の購入も見られましたが長続きはしませんでした。中央公民館が配本所の指定を受けた昭和四十年からは、中央公民館の設置図書も増加し、県立図書館から借り出し、公民館での利用はもちろんだ、町内の小学校区や各公民館への配本も増してきました。

### 図書貸し出し、いちじるしい増加

予算、人手、施設が今後の課題



椋鳩十氏の講演も

文部省も昭和四十二年には学校の読書指導を力説し、図書利用の指導と読書指導に時間を特設。白滝小学校では昭和四十三年に県立図書館の読書推進の地区指定を受けました。そして親子読書の研

### 高左 潔

〔町社会教育指導員〕

究発表を行い、県内の読書グループの会員が参集し、町内に親子読書の灯をともして保育所や小学校へ普及しました。

昭和四十七年には町内部落館へセット配本を開始。しかし、当時の読書は保育所や学校の図書依存の読書にすぎなかったことから、PTAが県立図書館から借り出して利用する小学校は半分近くにおよびました。

昭和四十八年には特に児童文学者椋鳩十氏を長

浜小学校へ迎えて「情報時代の読書」という講演をもらったことよって、読書熱は町内PTA、保育所、一般へと普及していきま

読書推進協発足、活動盛ん

昭和五十一年には長浜町読書連

### 期待します

政経豊富な先生ですので、実情は十分ご存知の通りですが、政治、経済、文化などの活動がこの長浜町でも、より活発になり、長浜町民が楽しく生きがいのある生活ができる町になるよう、ご指導頂きたいと思えます。

### 特性

り入れた働きがいのある職場づくりをすすめてほしいと思います。安定した職場こそ長浜町の人工流出を防ぎ、ひいては健全な家庭作りを促し、住み良い長浜町が生まれるのではないのでしょうか。今後の西田代議士の情熱に期待します。

議会が発足…

に俳句ポスト設置…

このように活発な文化活動への取り組みが伺えます。

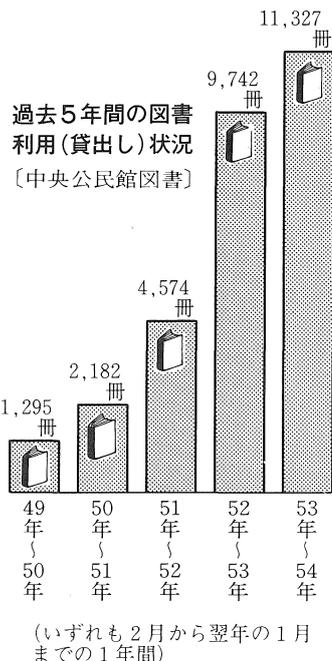
本紙では、文化的な読書、文芸、郷土芸能、文化財、道徳にしほって長浜町の文化活動はどう育っているか、関係者にそのあらましをレポートして頂きました。

### 文化の町づくり, その育ちぶり

絡協議会が誕生。初代会長に長浜の増田晴茂氏が就任、読書グループ代表と配本所図書運営委員で町の読書推進は一層強化しました。一方では読書研究会を、町教委、読書連絡協議会、公民館の三者で共催し、各読書グループ交替の研究発表、読書に関する講演などを行っています。

昭和五十二年からは私が読連の会長となり、五十二年の県の読書研究会では、出海保育所母の会会長河村和子さんが堂々「親子読書」について発表するまでに読書熱が高まり内容も充実しました。

昭和五十四年度には、町内の読書グループは二十一グループに増加、県立図書館から、十冊ずつ同じ本を借り出し、お母さんが同じ本を読んで話し合いをもつ、というかたちで、どのグループも年四十冊の本を利用するまでになりました。



このほか、私費で文庫を開設されている白滝の上田スミさんの活動は特筆すべきことでしょう。

#### 図書貸し出し5年で7倍

中央公民館では図書貸し出しを月曜と木曜に行っています。五十年から長浜の大田恒代さんに図書貸し出しや整理事務に当って頂いています。利用者も増し、本を通して人間性の育成をしてもらうことはうれしいことです。

### 親子いっしょで読書好きに

昭和五十一年に長浜親子読書活動をする  
ことになり、  
今なお続けて  
います。借り  
にくる子供達  
はずっと続いている子供、新しい子供と横に広がります。  
元気な子供達と話をしたり、  
借りてゆく本にその子の成



長をみるのは、ほんとうに  
楽しみです。女の子が多く、  
特に母親が家で仕事をされて  
いる子供の方が、読書量が多  
いように思われます。五分で  
も十分でも子供と一緒になっ  
て、本に親  
しみ、これ  
は子供にと  
って大切なことです。子供が  
成長した時でも母の手は必要  
です。一般の方々の図書利用  
が増えることをなお希望いた  
します。

#### 大田恒代

(44歳・長浜)

### 文芸

#### 短歌

短歌については、すでに早くから誕生していた四つのグループを紹介することに、わが町の短歌文化を表現せるとも言えます。

すでに63号を発行  
「大和白菊短歌会」

短歌誌「白菊」第一号

深めよう人生。参加を!

### 四つのグループ順調に

情報養う最大の  
方法です。  
読書は押しつけ  
られるものでなく、  
各グループで読書  
に情熱燃やす人づ  
くりこそ大切です。  
美も豊かさも私達  
の心から生まれ、  
豊かな町づくり、  
豊かな文化も「人」  
にあります。物質  
文化に対して、精  
神文化の源泉は読  
書にあります。



中央公民館の図書室には現在約5,810冊の図書があります。

#### 読書推進のきめ

では、地域住民の読書に注ぐ自主性と情熱はさることながら、条件整備としての、予算の増額、人手の増加、施設の整備が読書推進の

きめてであり、文化の町長浜づくりにためにも緊急な政治課題ではないかと思えます。



### 久保七郎

(町中央公民館長)

に、二宮政夫大和公民館長の提唱でグループが生まれ、毎月歌会を開くことになり、会の名前を相談して「白菊」とつけました。あれから十三年、「白菊」は六十三号になっています。

現在会員は八人、泉ゆき子、菊地スミエ、岩田重子、久保重子、万代ナガヨ、村上テル子、谷ミドリ、佐田雅子さんらで、愛媛アララギにも四人が入会、白菊誌、農協文芸、新聞歌壇などに投稿して勉強しています。

毎月15日は例会

「長浜ありそ短歌会」

ができたのが昭和四十一年十二月二十日、詠草提出者八人でした。私が大和小学校へ赴任して二年目

白菊短歌会の誕生、その指導を受け持った私が長浜在住であるということに刺戟され、長浜婦人会では、鎌田定子会長が「短歌の研修会」を開催。短歌の作り方について私が講演、短歌グループを作り「ありそ」第一号が昭和四十二年十二月二十日に発行されました。



長浜小学校には俳句グループも誕生

出詠者は十五人です。以来今日まで五十三号、毎月十五日に例会を開いています。石丸美千香、金沢吉子、岸本純子、境良恵、東はな子、堀江米子、松田静子、山口美千子、山下ヨネ子、久保美江さんら十人で、指導は私です。大和と同じくアララギに六人入会、ありそ誌、新聞歌壇に投稿して励んでいます。「ありそ」というのは万葉集の歌にたびたび出てくる「荒磯」のことです。

農協文芸短歌の主流  
「出海短歌会」

古いアララギ会員である本田信子さんが、大和、長浜の歌会出発触発され、昭和四十三年五月から歌会を始め、今日まで毎月例会を欠かしません。愛媛アララ

ギに五人入会、農協文芸短歌の主流です。現在の会員は八人、本田信子、本田重太郎、西山晶子、山下靖子、田丸富枝、池田蓉子、浜口文子、稲田都の皆さん。

ことし結成十周年  
「楡生短歌会」

出海について昭和四十四年七月愛媛アララギの古い会員大本満子さんの主唱により結成されました。愛媛アララギに二人入会、農協文芸の出詠を続けています。会員は大本満子、渡辺仁之助、生田八重子、谷井光恵、片岡富美子、西田チズルさんら六人です。

長浜町に短歌グループが四地区にできて十年余り、これからも続いていきます。いや続けます。文化的なものは長浜に育たないといわれてきましたが、このように短歌のグループが育つたのです。人間の生活に密着している文字としての短歌を通して三十四人の短歌

句は生きるあかしのうた

十五年前、娘を亡くしたとき、娘の友人のお母さんからなぐさめのことばを句に託して頂き、作句のすすめを頂きました。とてもうれしく、娘の好きだった白ユリの花をみつめつつ「白ユリに思い出残る亡き



娘」という初めての句を作って返信にしたのが、私と俳句づくりの出会いです。楽しいときは楽しく生まれらうた、悲しいときには悲しく生まれらうた。みるもの思ふものが句となつて再(53歳・今坊) 現されるとき、それはわが人生を豊かに支えてくれる「生きる証(あかし)のうた」と言えるでしょう。

矢野元ヒデ子

うものが句となつて再(53歳・今坊) 現されると

人が生活を表現していきます。お互い同志、同じ生活の基盤に立つて、この生活を声に発し、お互いに取り交わす叫びの声を短歌に託していきます。

自分の人生を少しでも深めて行きたいと思われの方の参加をお願いします。長浜町の文化人口をひろげるために。(文責・久保)

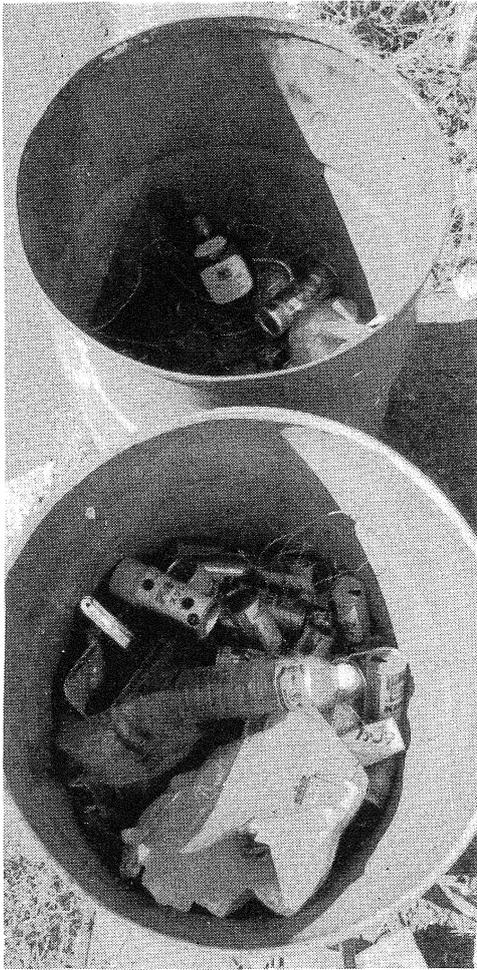
俳句

昭和五十一年に、小・中学生の余暇利用とふるさとの良さの発見のため、長浜小に俳句グループが誕生して、生徒たちはふるさとの美しさに情を接しています。

昭和五十一年度の白滝公民館大会で「ふるさとを見なおそう」の施策として俳句ポストの設置が提唱されました。翌五十二年には、情操教育と郷土教育の一翼として、町内五か所(白滝に三か所、長浜

現在農協の広報紙に投句(昭和四十二年から)するグループをはじめ、柴の「芽ばえ」句会、白滝の俳句会、保育所、小学校、役場などの職場や町内各地に俳句を友とし、感動の日々を送る人は多く見られます。

長浜町には、明治三十八年五月二十五日、西村兵太郎(号・笑波)によって、俳誌「シブキ」が発刊され、全国各地から投句者があり、教科書にも出てくる内藤鳴雪などは選者でした。笑波二十歳の時です。以後町内には各所に俳句を友とする人は絶えませんでした。昭和二十一年には、関俊雄氏や井上武夫氏により俳句紙「新樹」が発行され、西本一都氏が選



ちやうどびんかん

ふり分けられていますかビンとカン

者でしたが、間もなく大洲の矢野  
鳩女や天野柳糸氏に引きつがれま  
した。「新樹」の投句者は長浜町  
内だけでも相当数におよびました。

ふるさと長浜の自然の美しさが  
俳句の温床となります。何が美し  
いか、それぞれの価値観を自らの  
眼で確かめ、心で感じとり、心の

安らぎをとりもどし、自己をみつ  
め、豊かな文化の町長浜づくりに  
俳句を通して寄与されることを期  
待してやみません。(文責・高左)

### 五年前から機運高まる

### 青少年が伝承の主役

町内の芸能伝承は、人  
口の過疎現象による後継  
者不足と合理的、科学的  
な考え方の影響によって  
一時消滅の危機に直面し  
ていましたが、地域を愛  
する人たちがふるさと  
の歴史と文化を伝承し育  
てようと、五年前ごろから  
公民館活動を中心に急速  
に機運が高まっています。



### 菊地邦求

(町社会教育主事)

をわかししました。この第  
一回郷土芸能祭が、その  
後の伝承活動の機運を高  
めたといえます。

牛鬼など12

長浜町各地域に、人々  
の生活とともに生きてい  
る郷土芸能はつぎの通り  
です。

盆踊り(町内各地区)

青島の盆踊りは、県指  
定無形民族文化財とな  
っています。

豊年踊り(大和地区)

県指定無形民族文化財

相撲甚句(戒川)

段七踊り(戒川)

地突音頭(今坊)

お船うた(長浜)

五鹿踊り(豊茂)

かさばり歌(榊生)

四ツ太鼓(出海、榊生)

はぜとりうた(榊生)

牛鬼(榊生、出海、豊茂)

獅子舞い(沖浦、大和、豊茂、  
出海、榊生)

### みんなで参加協力を

無形文化財は、一世代とだえた  
らもう後世に残すことができな  
いものと言われています。青少年に  
郷土愛をもたすためにも、郷土芸  
能を地域の文化として継承し、高  
齢者から青少年、小さい子供に至

### 郷土芸能

手によって伝承されています。た



先輩から熱心に獅子舞いを習う青年たち

### 第一回郷土芸能祭が実現

昭和四十九年から、  
心を豊かにする公民  
館事業に取り組み、  
同年の八月には第  
一回長浜町郷土芸  
能祭が実現。町内  
各地域に昔から伝  
わる生活感情豊  
かな民族芸能が  
一堂に集まり、  
二千人の参加者  
のもと町民の血

### この重み 次代へ



四年前ごろから若者が育  
ち、今は最も充実している  
と。町も郷土芸能の伝承  
に力を入れていることは喜ば  
しいことだ。

私たちの先輩が伝えてくれ  
た祭りの主  
藤田武志 役、当時の  
(27歳・豊茂) 人々の喜び  
や願いを今に次ぐ郷土芸能。  
その重みがぜひ次の世代に、  
イヤ、みなさんに伝わってほ  
しいと願っています。

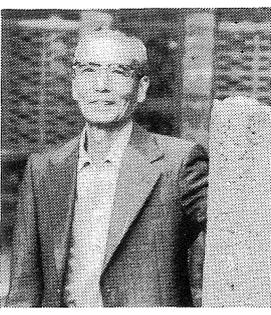
るまで、芸能伝承の意義を理解し、  
保存伝承に参加協力してほしいも  
のです。「文化は山からおりてく  
る」とよくいわれていますが、郷  
土芸能は、同一地域の人々が、同  
族、血縁などにかかわらず、宗教  
的信仰と慰労をかねて、長浜に住

### 指定文化財は16件

### 待たれる民族資料館の建設

### 45年に総合調査

長浜町に文化財  
保護法が制定され  
たのは大洲に遅れ  
ること七年、昭和  
三十六年六月三日  
でした。これは大  
洲と長浜の文化遺



金橋寿幸  
(町文化財保護審議会長)

### 文化財

# 文化の町づくり, その育ちぶり

産所有のちがいを示しています。ついで昭和三十八年十月一日と十二月一日に七人の文化財専門委員が委嘱されました。菊地正行、浜田通雄、井関忠夫、近藤佳次、河村純一、西岡通福、亀田四郎の皆さんで、これらの委員の積極的な調査や啓蒙活動が展開され、各地区の文化財を発掘しました。

昭和四十五年七月三十一日から行われた愛媛県の長浜町文化財総合調査には、桜井久次郎、八木繁一、野口光敏の県文化財専門委員が来られ、今まで調査したものについて本格的に調査してもらいました。現在町指定の文化財は、この調査結果によるものがほとんどです。

最近では戒川櫻谷の道しるべ

町内の指定文化財は、現在次の通り。(一)内は指定年月日。

**国指定重要文化財**

- 【彫刻】沖浦・瑞龍寺の木造十一面観音立像(大正11・9・3)
- 【工芸】出石寺の銅鐘(大正7・4・8)

**県指定文化財**

- 【彫刻】出石寺の木造釈迦如来坐像(昭和40・3・29)
- 【名勝】金山出石寺(昭和26・11・27)
- 【無形民族文化財】青島の盆踊り(昭和51・12・24)

**町指定文化財**

- 【天然記念物】無事喜地のタブノキ、豊茂のコガノキ、出海神社のイチヨウ、豊茂三島神社のイチヨウ、櫛生大峯のイタジイ、出石寺のカツラ(以上いずれも昭和46・

3・15)、戒川三島神社の社叢(昭和51・5・18)

【無形民族文化財】豊年踊り(昭和46・3・30)、戒川櫻谷の道しるべ(昭和52・9・19)

【建造物】住吉神社の手水鉢(昭和48・2・7)

【書跡】久保文書(昭和48・2・7)

**守り伝えよう文化財**

長浜町の文化財は、大洲に比べて数は少ないけれども、祖先から残された文化的遺産であり、長浜の生活の跡を物語るものです。これなくしては、長浜の歴史や文化、町民性を正しく理解すること



無事喜地のタブノキ

はできません。これらの文化を継承してこそ長浜の新しい文化の発展、文化の創造があります。まだ

まだ各地区にうずもれている文化財を掘り出し、長浜町民共通の貴重な財産として大切に保護しなければなりません。

現在一日も早くやらねばならぬことは、民俗資料館の建設であります。今日の激しい変動期には社会生活や生産様式のうつりかわりとともに貴重な文化財が消滅しようとしております。祖先が残した町内の民俗資料を一堂に集めましょう。庶民の生活文化遺産を見ることが、次の世代が長浜人の生活の推移を知り、よき風俗習慣などを後世に永く伝えてくれることと思えます。

**サルビア、サツキ、サンゴジュに願ひ込めて**

社会教育の総称として、昭和四十九年に町の花、花木、木が制定されました。私たちみんなが共通のものを育てる喜び、連帯感を養うということでも社会教育の目標にもなっており、大分普及が見られます。町の花、花木、木については次の通り。

【花】：サルビア：人と人との温かい心のつながりをつくり、躍動的でロマンを感じさせる花に心のふるさとづくりを表現しています。

【花木】：サツキ：健康で平和な家庭づくりを表現しています。

【木】：サンゴジュ：町民みんなで知恵を出し合って希望に満ちた地域づくり、情緒に富んだ町民性を表現しています。

未来をみつめ、美しい人情と文化の町の土づくりは、公民館を拠点として推進されていると思います。

このほか、買い物や乗り物の場合の一例励行、時間の厳守など、すべて人間尊重という観点から実践的学習をすすめています。

**学 校**

学校教育の中  
に初めて道徳教

**社会**

**町の花木制定は連帯感の高揚**

**学校**

**55・56年度から新指導要領**

**家庭、学校、社会が一つになって**

**社 会**

長浜 町の場  
合、社  
会、社

会道徳を高めるための公の活動は、公民館活動の中に盛り込まれており、社会教育そのものが道徳教育といえるでしょう。

**感謝の精神など**

これまで重点としてきたものは、あいさつの励行、会合時間の厳守、事業や活動



**山本辰雄**

(町教育課長補佐)

る話し合い(家庭の日)の実践などです。

乏しい。来た時より  
も美しく。

また、公民館のキャッチフレーズとして「来た時よりも美しく」があります。つまり、公民館の利用者は、部屋を使ったら必ず掃除をして、次に使う者がそのまま利用できるようにし、公民館を利用者一同で守っていくということ。部屋も、トイレも、みんながきれいに利用し、汚したら「自分の行為には自分が責任を持つ」、自分で後始末をすることが大切です。このこと一つを通して、公民館利用の間にも民主主義が身につくようにと考えています。しかし、現実には守られていません。他人がみている時だけしかまきまりが守れない人が多いのです。これでは、道徳を身につけた社会の一員とは言えません。自分自身は自分で守る。これが民主主義社会の大人ではないでしょうか。

文化の町づくり, その育ちぶり

育が設けられたのは昭和三十三年。このときの道徳教育のポイントは人間尊重の精神で、指導内容は小学校三十六項目、中学校二十一項目。十年後の昭和四十二年には、将来のわが国を背負う国民の教育の基礎をいっそう充実する方針で指導要領を改善、指導内容も小学校が三十二項目、中学校が十三項目に集約整理されました。

生命を尊び…ほか

現代社会の急激な変化に対応しきれず、昭和五十二年には二度目の改訂が行われ、小学校は同五十五年から、中学校は五十六年から新しい要領で実施する運びとなりました。それによると小学校の指導要領の内容は二十八項目、中学校は十六項目です。たとえば小学校の場合は次のようなことです。

小学校指導内容

- ①生命・健康・安全②礼儀作法とときまりある生活③整理、整と物や金の活用④正しいと信じることの実行と他人に動かされない
- ⑤自他の自由尊重と行動に責任を持つ⑥常に明るく誠実に⑦正を愛し不正を憎み勇気をもって正しく行動⑧正しい目標実現には困難に耐える⑨人の忠告をよく聞き反省し、思慮深く節度のある生活⑩自然を愛し、優しい心で動物や植物に親しむ⑪美しく崇高なものを尊び清い心を⑫自分の特徴を知り長所を伸ばす⑬希望をもち高い目標を立て実現に努める⑭合理的、研究的態度を⑮創意工夫をこらし、新しい分野を⑯だれにも親切、不幸な人や弱い人をいたわる⑰社会

に尽くしてくれる人々に感謝と尊敬を⑱互いに信頼し合い仲よく助け合う⑲偏見を持たずだれにも公正公平に⑳広い心で人の立場を理解し人の過ちを許す㉑規則や自分たちの作るきまりの意義を理解し進んで守る㉒権利を正しく主張し自分の果たす義務を確実に果たす㉓勤労の尊さを知り人のために仕事をする㉔社会の一員として自覚し、公共物を大切に公徳を守る㉕家族の人を敬愛し、よい家庭を作る㉖学校を敬愛し、立派な校風を作る㉗日本人として自覚をもって国を愛し、国家の発展に尽くそうとする㉘広く世界の人々に対して正しい理解と愛情をもち、人類に役立つ人間になろうとする。

独自の道徳資料集も発行

これまでの間、文部省からも種々の資料が出されていますが、昭和四十三年には、町教委と町道徳主任会が独自で学年別の「道徳資料集」を編集発行、同四十七年には、長浜中学校が「道徳性意識調査」を行いまとめています。さらに同四十九年には、町教育研究所と長浜中学校が独自で、学年別の「道徳資料集」を編集発行しています。

三者の提携が大切

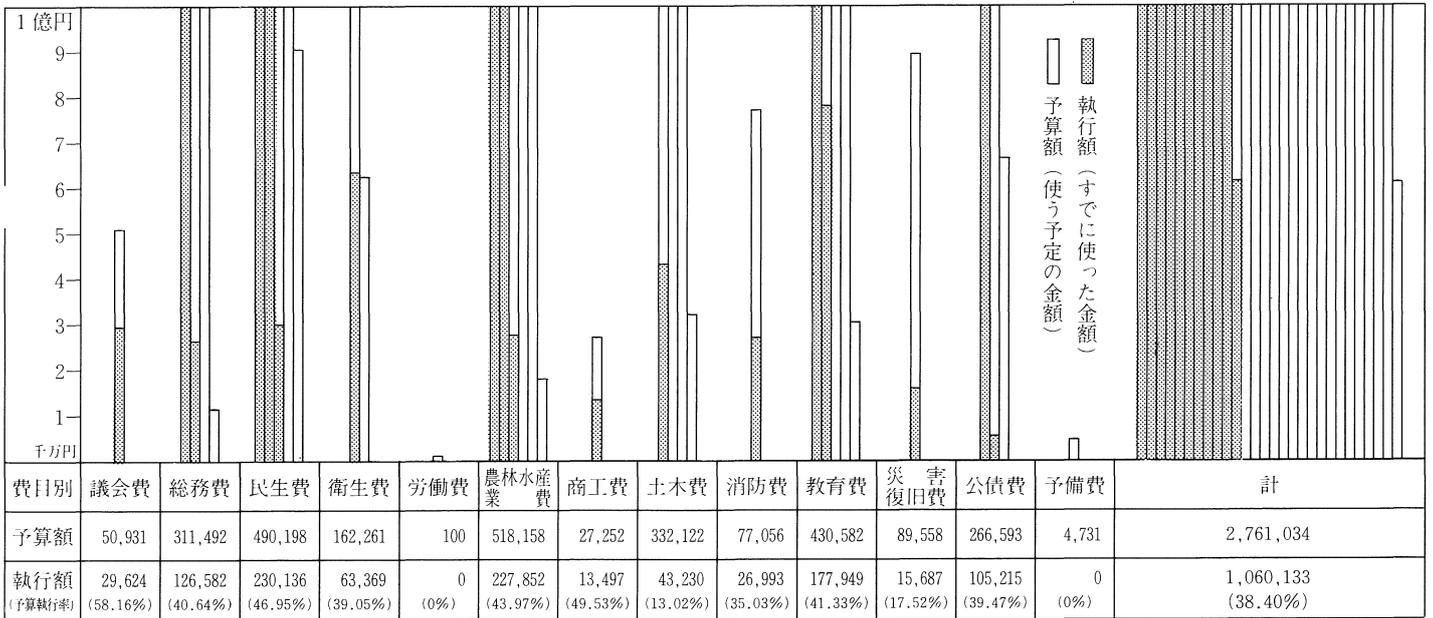
道徳教育はもとと、家庭、学校、社会の三者がそれぞれの役割を果たし、それらの間に一貫した方針が保たれることによって、その徹底を期することができまます。日常生活のあらゆる機会や場において行われるべきものであり、三者の提携が特に大切です。

# 現在長浜町の財政

## 会計

歳(使うお金)出

(単位：千円)



### 住宅新築資金等貸付特別会計

予算額 42,594千円  
収入済額 3,896千円  
支出済額 66千円

### 簡易水道会計

予算額 49,954千円  
収入済額 3,216千円  
支出済額 17,561千円

### 水道事業会計

収益	20,669千円
費用	18,657千円

### 工業用水道事業会計

収益	3,961千円
費用	5,780千円

### （戦没者遺族の） 特別弔慰金の 支給範囲を拡大

戦没者の遺族に対する特別弔慰金の支給の範囲が、さらに拡大されました。

それによると、昭和五十年四月一日から昭和五十四年三月三十一日までの間に公務扶助料、遺族年金などの受給者がいなくなっている場合は、その①配偶者②子③父母④孫⑤祖父⑥兄弟姉妹⑦戦没者と一か年以上生計に関係のあった三親等内親族のうち先順位者に特別弔慰金十二万円（国債で年二万円の六年間）が支給されることになりました。

該当すると思われる方は、役場住民課で請求手続きをしてください。

### 農業者年金

### 特納申し込み期限 は今年いっぱい

後継者は月3千6百円

農業者年金への加入時期を逸した農業後継者が、一か月に三千六百円を特別に納めれば（特例納付）、農業者年金に加入できるという救済措置が設けられているのをご存知ですか？

この措置はことし七月一日にスタートしたもので、加入希望者はことし十二月三十一日までに農協の窓口申し出ればよいことになっています。対象者は次の要件に

【別表】基準日

区 分	基準日
大正8年7月3日～大正9年1月1日生まれ	昭和49年7月1日
大正9年1月2日～昭和11年1月1日生まれ	昭和50年1月1日
昭和11年1月2日～昭和12年1月1日生まれ	昭和51年1月1日
昭和12年1月2日～昭和13年1月1日生まれ	昭和52年1月1日
昭和13年1月2日～昭和14年1月1日生まれ	昭和53年1月1日
昭和14年1月2日～昭和15年1月1日生まれ	昭和54年1月1日

該当する方です。

一、国民年金の被保険者であること

二、大正八年七月三日から昭和十五年一月一日までの間に生まれた方

三、別表に定める基準日に、五〇アール以上の該当者名義の農地を耕作または養畜の事業を行っていた方

四、別表基準日まで引き続き三年以上耕作または養畜の事業に従事していた方

保険料は、申し出た方の生年月日によるそれぞれの基準日から、申し出た月の前月までが一月三千六百円、それ以後は定額の三千二百九十円を納付すればよいことになり、早く申し出をした方が有利となります。保険料の納付期限は、昭和五十五年十二月三十一日までです。

### 財政状況の公表

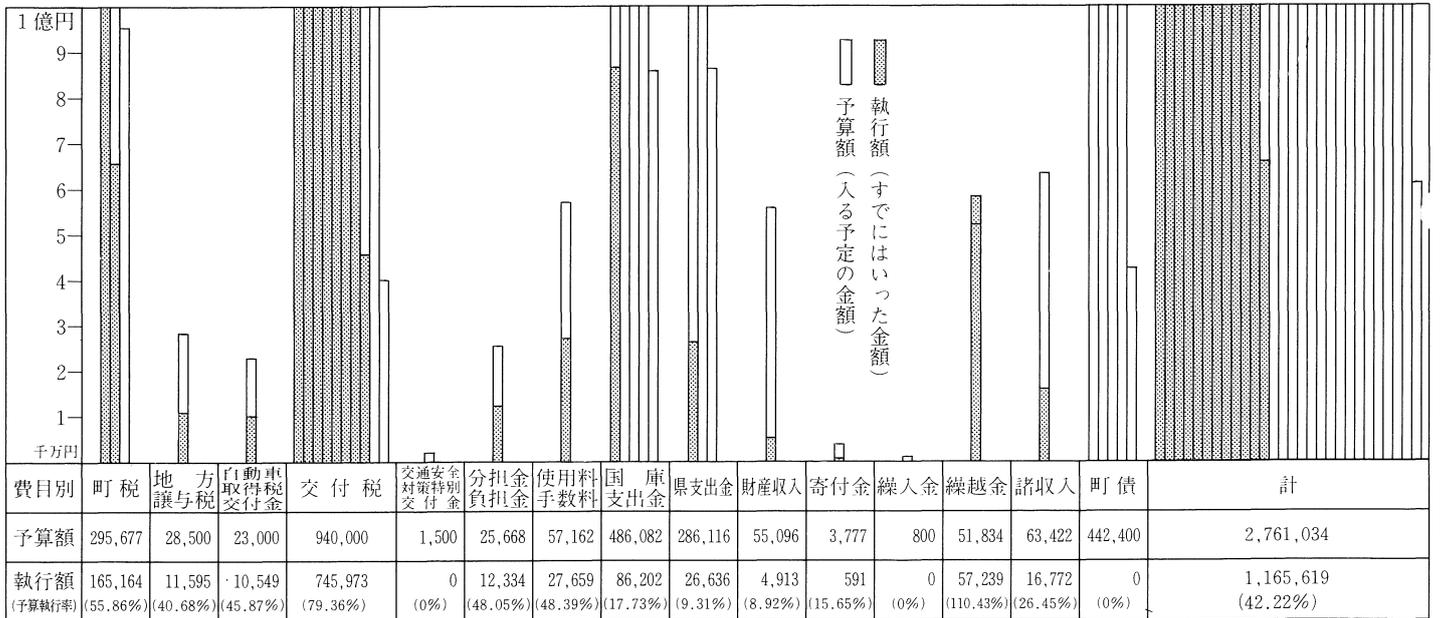
長浜町の財政事情の作成および公表に関する条例により昭和54年度9月末現在の財政を公表します。

昭和54年10月 長浜町長 二宮重憲

# 昭和54年度9月末

## 一般 歳（はいるお金）入

（単位：千円）



### 国民健康保険 特別会計



予算額 668,115千円  
収入済額 242,938千円  
支出済額 208,924千円

### 国民健康保険直営診療所 特別会計



予算額 33,512千円  
収入済額 771千円  
支出済額 30,554千円

### 港灣施設 特別会計



予算額 13,378千円  
収入済額 2,720千円  
支出済額 7,119千円

### モラル高める努力を 明るく正しい選挙の実現

声…いつものごとく選挙ともなれば町議はもとより国会議員に至るまで、選挙管理委員会の「明るく正しい選挙をいたしましょう」の呼びかけもなんのその……。

困るのは家庭訪問…「どうぞ〇〇にお願いします。交代で1週間くらい続きます。なんとか止めるようにならないものではないでしょうか。明るく正しい選挙ができるよう選管でもできないものか、おたずねします。(町内N.T)

お答え…明るく正しい選挙への願いはもっとものことと思います。選管でもそれを望んでいることです。しかし、正直申し上げてその実現ほどむずかしいものはないとも感じさせられているところです。

ご期待には沿わない返答とは思いますが、結局のところは、選挙をする人、される人、運動をする人、1人ひとりのモラルの向上に努めるよりほかはないと考えます。理想選挙、理想社会の実現に目ざめて頂きたいと願っています。

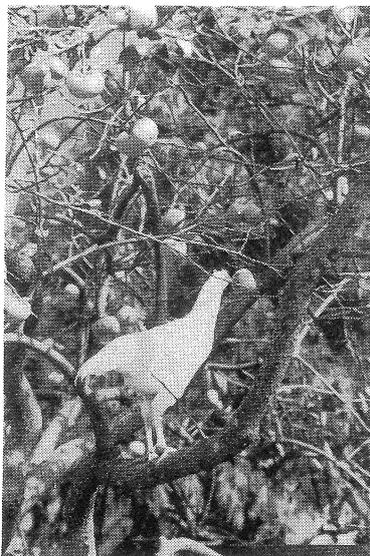
なお、この声のうち特定な対象者を指した表現、掲載時にタイミングのずれる用語は割愛させて頂きました。

声…櫛生の原保というところに古井戸があります。深さは50mから100mはありそうです。私は1度その井戸をのぞいてみましたが、もし子供や酔っぱらった人でも落ちたらどうして助けるのだろうかと心配でなりません。ころばぬ先のつえ、ぜひフタをして頂きますようお願いいたします。(一町民)

お答え…さっそく現場へ行って調べた結果、直径70cm、深さ4m30cmの井戸でした。

ご指摘のように事故があつてはいけませんので、町の消防係の方で有刺鉄線で囲むことにします。ご指摘ありがとうございました。

### 有刺鉄線で囲みます 櫛生原保の古井戸



晩秋。こんな珍しい光景もみられました。(長浜山際で)

## 今月の声

この欄は、あなたの声にお答えする、あるいは、あなたの声を紹介するページです。直接おたずねが、あつたこと、町の中でふと耳にふれたあなたの「声」もスクープしています。お互い生活をしているという感じがありません。お互い生活をしていくと、町のごとでわからないことや不満ごと、ご意見がありましたら、このページがあることを思い出して頂き、どうぞご利用ください。



声の箱もご利用ください



### 所有者分取り取り除き

#### 新長浜大橋たもとの廃材

声…以前にも投書したところ「かたづけたから…」とのことでしたが、現場を見に行ってから書いてほしいものです。

新長浜大橋の長浜側の橋ゲタの下のところは、ゴミやガラスの割れがあつても危なくてなりません。

近所の方に聞いてみると、知らない間にたまったもので困っているとのこと。きれいにかたづけてほしいと思います。(近所のもの)

お答え…先の投書では「ゴミの山」今回は「ゴミやガラス」とありますが、これは、とりこわした家の柱など廃材などのことではないかと察します。そうであればこのための感違ひがありましたことをおわびいたします。もちろん回答に当つては現場を見ています。

ところで、問題の廃材ですが、以前から調査中でした所有者が分かりましたので、9月29日に取り除かせました。

なお、他のみなさんにもお願いします。公共用地や空地を無断で利用されないようお願いいたします。事故や災害の原因になることもありますから……。

### 塩害防止などのため 旧海水浴場のテトラ設置

声…私は松原通り38区の高校3年です。8月31日に長浜の旧海水浴場の工事を見てびっくりしました。ぼくたちは、小さいころから旧海水浴場で泳いできました。そして、ぼくたちの安らぎの場でした。たった一つの砂浜でした。それがまた、テトラポットの山になるなんて信じられません。高潮対策といって工事しているけど、今までにそんな高潮被害などあったんですか？ぼくたち、イヤ、子供たちの砂浜をメチャメチャにしないでください。旧海水浴場は、いつまでも美しい浜であつてほしいものです。

お答え…海岸をやすらぎといこいの場として残したいお気持ちには、町としても同感です。しかし、旧海水浴場の場所では、昭和24年のテラ台風、25年のキジャ台風の際、波が堤防を越えて付近の家屋が塩害にあつています。このようなため、付近住民からの波止め工事の陳情もあつて、ご覧のような消波工を県が行っているものです。

な薬草百点を展示。約六百人が訪れたほか、会場で開いた山本四郎氏の講演会では約七十人が聴講した。

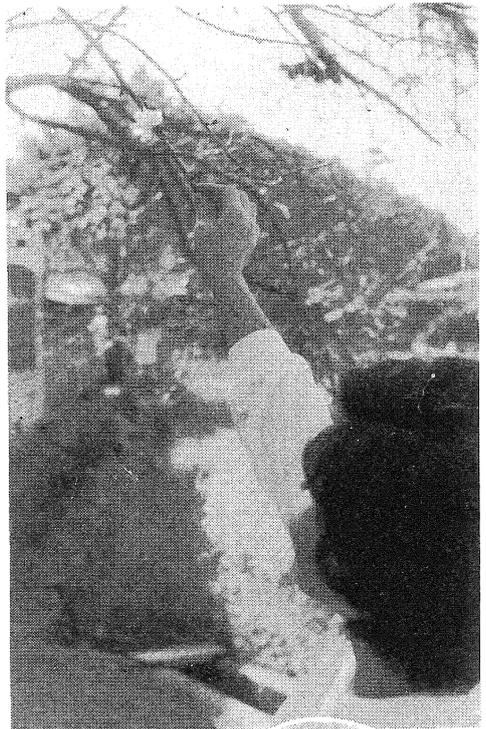


### 薬草展 に600人

九月二十  
九日から十  
月一日まで  
「愛媛の薬  
草展」が中  
央公民館で  
開催された。  
県立博物館  
から運ばれ  
てきた身近

### 春が来た〜？ 出海に桜咲く

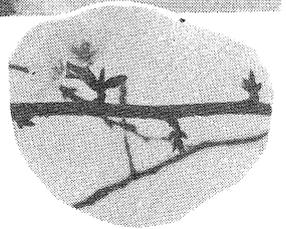
ハイ、そのマサカ…の桜の花が、



秋も盛りには咲いていたらしい。



桜の古木に、四〜五輪ずつのかたまりで三か所に。おまけにあざやかな黄緑色の葉まで二つ。よくよく見れば、枝全体がつぼみをつけて正にここでは春盛り。



止まっ  
たのが  
十月三  
日。出  
海小学  
校講堂  
裏のデ  
ツカイ

同校の校長先生の話では「最近木に虫が入ったので、そのため異状が…」ということ。



### やったぜベビー 役場裏庭で9つ子

全員集合ノパチリ。

ことしのつゆ、雨ふる役場裏庭で、いつしようけんめいに穴を掘っていた亀さん。その後姿が見えないと思ったら、いつの間にか九つ子を連れて池の中をスイスイ。あまのりかわいさに

### わだいX話題



楽しそうに素振りの練習をする初心者テニスクラブの皆さん

### 町内にテニスブーム到来？

〇…初心者クラブぞくぞくふえて43人…〇

「テニスボール」といえばだれもがご存知。でも、プレーの経験は？と問えば「ノー」と答える人が多い。そのテニスが今、私たちの町では一般の人たちに大受け中。四、五人だった初心者テニスクラブに、ことしの七月ごろからなぜか入部者が急増、今や女性三十七人、男性六人の合計四十三人にもなって、正にテニスブームらしきをかもしている。テニスコートが借用できるより中だとか。

日曜日午後には、長浜中学校のコートはプレーを楽しむ人でいっぱい、ポーン、ポーンとあの快い音はずませている。その顔ぶれもママさん、パパさん、学生さん、よくよく見れば家族連れが二組、夫婦連れが六組も…年齢別では十代六人、二十代六人、三十代二十三人、四十代七人、五十代一人…ということにしてまたどうしてこのように人気急上昇したのか探ってみれば、どうやら昨年の夏に長浜町体育協会が開いた初のテニス教室の効果が一年後になって現われはじめたらしいとか。

「こんなに楽しいスポーツだとは思いませんでした」「日曜日が待ち遠しいですね」と、だれにも好評。

九月三十日には部の盛況を祝してテニス大会を開催、珍・好プレーにわいた。部員は今もさらに増えている。

# 表彰\*\*\*

## 長中が「県健康優良学校」

長浜中学校は、県下の規模校の中で今年度の健康優良学校に選ばれ、主催した県教育委員会などから表彰されました。

今年度優良校に選ばれた要因として、脊(せき)柱側弯症の早期

### ●事業主さん加入してですか？

労働者を一人でも雇用する事業所は、雇用保険に加入しなければならなくなっています。まだ加入されていない事業所は、今すぐ加入の手続きをしましょう。

1人でも雇用すれば  
加入手続きについては、  
もよりの商工会が大洲公  
共職業安定所(08932④  
3191)へおたずねください。



長浜 隆

人間時には全く赤の他人になって自分を見詰めてみたいと思うときがある。そうすれば自分の考え方が正しいか正しくないか、自分の言動が正当か正当でないか、自分の識見能力が優れているのか劣っているのか、極めて明りょうに判断できるに違いない▲大体世の中を見渡すに、あの人はよくできたという人で、立て前は謙遜であるが本音は偉いと思っっている輩(やから)が多い。そういう連中が犯罪に触れず、物議をかもしない範囲内において権謀術策の限りを弄(ろう)して生きているのが娑婆(しゃ)世界の実態だろう▲大は国際関係、国家権力の座から地域、職域、学校、家庭、天真爛(らん)漫無邪気そのものとも見える保育所、幼稚園の幼童の世界にまで渦巻いていることまことに瞭然(りょうぜん)たる事実である。表現の仕方に上手下手はあってもその真底をむいではない▲仏教ではこれを称して修羅(しゆら)の境界という。さて自分が他人の立場から見ればかくのごとく達観らしい見方ができるのだが、自分を純粹な他人から見てどう映るか、これが重大問題だ▲わが長浜町も他町村からお世辞なしの本音で見てどの位の値うちに映っているのか、このようところを念入りに探る必要があるはしないか。

### 寄付

○下須戒の本田定さん(四六)：  
グランドまさつち十一立方尺を  
大和小学校へ。  
○長浜二十区の明関定市さん(五  
六)：リヤカー一台を町役場青  
島連絡所へ。

発見にいちじるしい成果を収めていることがあげられています。同校は五十一年度、五十二年度には準優良校に選ばれていますが優良学校に選ばれたのは初めて。

### お誕生おめでとう!!

9月届出分(敬称略)  
住 所 保護者氏名 続柄 児名  
豊 茂 石河 常夫 長女紗央里  
下須戒 日野 清市 長男 照久  
長 武田 利幸 長男 大輔  
下須戒 松野 末章 二女久美子  
須 谷本 尚光 二女 文子  
下須戒 矢野 正治 三女 順子  
沖 神野 俊章 長男 順一  
長 菊地 郁哉 二女 真弓



### 結婚

9月長浜町役場届出分(敬称略)



今月のトップは西村昭彦・恵美子さんのカップル

住 所 氏 名 婚姻届時年齢  
住 所 西村 昭彦 (二三)  
豊 茂 大宮 恵美子 (二三)  
沖 積 村 上 美津子 (二八)  
内子 町 亀岡 美津子 (二八)  
下須戒 中矢 上野 幸子 (二四)

### おくやみ

9月届出分(敬称略)  
住 所 氏 名 死亡時年齢  
住 所 久保 穂子 (八四)  
戒 川 惣谷タキヨ (七七)

### 地域別人口・世帯数 (10月1日現在)

大字	人 口			世 帯
	計(人)	男(人)	女(人)	
仁 久	320	164	156	110
長 浜	3,500	1,655	1,845	1,120
青 島	132	57	75	63
黒 田	443	220	223	117
沖 浦	1,376	665	711	389
今 坊	734	352	382	185
櫛 生	976	451	525	289
須 沢	207	101	106	58
出 海	884	425	459	267
下須戒	955	473	482	268
穂 積	135	67	68	37
上老松	341	157	184	92
豊 茂	861	406	455	234
白 滝	1,126	528	598	367
戒 川	336	164	172	95
大 越	64	33	31	16
柴	752	374	378	199
合 計	13,142	6,292	6,850	3,906

### 編集後記

文化の町づくり、その育ちぶりをレポートして頂きましたが、紙面の都合上、ポイントだけとして頂きましたので、このレポートがすべてとお考えになりませぬように。

十月十一日午後、広島県東野町の広報編集委員会の一行七人が、わが町の広報行政のあり方(おもに広報編集について)をたずねて来町、約一時間半説明と意見交換をしました。東野町では、校長先生など町内の識者を含めた委員会が設けられていたことが注目されました。

今年発行する本紙も早十二月号を残すばかり。昭和五十四年を締めくくるにふさわしい紙面にしたいですね。よろしく。